

令和2年度

木とふれあう環境づくり推進事業

令和2年度の助成状況について、一部ご紹介します！！

◆木育環境の整備

★紹介1：木の子供用キッチン、木の探索箱、木の知育玩具（パズル）（屋久島町）

●事業主体

学校法人 光の子ども自然学園 あゆみの森こども園

●助成額

669,000円

●県産材使用量

2.70㎡

●整備の概要

子どもたちが木の伐採から参加し、製作した「木の子供用キッチン」や、虫箱としての機能をもつ「木の探索箱」、ゲームやパズルとして遊べる「木の知育玩具」を整備しました。それらを活用し、木製品のふれあいを通じて、木材への親しみなどを学ぶ「木育」に取り組んでいます。



木の子供用キッチン



木育の取組（木にふれる）



木の探索箱



木育の取組（木材を使ってつくる）



木の知育玩具（パズル）



木育の取組（木をまなぶ）

◆木造施設等の整備（施設の整備）

★紹介2：親子カフェ（薩摩川内市）

●事業主体
特定非営利活動法人 大王児園

●助成額
4,453,000円

●県産材使用量
20.39㎡

●整備の概要

親子向けのお話会など地域の子育て世代が気軽に訪れることができる「親子カフェ」を整備しました。様々な木を組み合わせたデザイン性豊かな壁のある部屋には、授乳スペースとして、シンボリックな木のおうちを設置するなど、親子で木の空間を感じてもらうための工夫がなされています。



★紹介3：ルタンはうすホール（霧島市）

●事業主体
医療法人 まほうつ会

●助成額
6,845,000円

●県産材使用量
19.28㎡（うちCLTの使用量：3.67㎡）

●整備の概要

地域の方々が集うイベントホールとして利用する「ルタンはうすホール」を整備しました。内装は集成材を利用、施設の主要構造部の床（1F・2F）には、本県で製造されたCLTを現地で利用するなど、利用者が木のぬくもりや優しさを体感できる空間となっています。



◆木造施設等の整備（製品の設置）

★紹介4：木製遊具「たからものおきば」、「ひみつきち」（鹿児島市）

- 事業主体

社会福祉法人 はちす会 おおぞら保育園

- 助成額

817,000円

- 県産材使用量

1.59㎡

- 設置の概要

子どもたちが、木に触れることを通じて、身体全体で遊ぶことができる「たからものおきば」、「ひみつきち」を設置しました。製品は、子どもたちに木の良さなどを五感で感じてもらうため安全にも配慮したデザインとなっています。



たからものおきば



ひみつきち

◆木製品の開発及び普及（一般枠）

★紹介5：高齢者すこやか木製ベンチ（鹿児島市）

- 事業主体

有限会社 奥建具製作所

- 助成額

559,000円

- 開発の概要

椅子シュミレーターでの分析により、高齢者の「立つ」、「座る」の動作に優しい「高齢者すこやか木製ベンチ」を開発しました。製品の肘掛け部分に杖立やテーブルとしての機能を兼ね備えたほか、座面部分に、畳を採用するなど、木の温かみを感じながら、安心・安全にも配慮した作りとなっています。



二人掛け用



一人掛け用